

Crocus sativus

Crocus sativus L. 古典ラテン語読み: クロコス サティウス、英語読み: クロウカス サティブス

基原植物和名: **サフラン** (番紅花、蕃紅花) 基原植物英名: **Saffron Crocus** [səfrən] サフラン クロウカス

ユリ目 新エンゲラー: **Liliflorae**
クロンキスト: **Liliales**
アヤメ科 Iridaceae
サフラン属 **Crocus**
産地: スペイン、フランス、イタリア、日本。

南ヨーロッパ、小アジア原産の多年草。
紀元前からヨーロッパでは古くから貴重で高価な香料、また染料として利用されていた。名前も見た目もよく似ているイヌサフランという植物は、ユリ科に属する全くの別物。イヌサフランは、コルヒチンという物質を含む毒草である。

晩秋、球茎から1〜3個の淡紫色花を出す。花筒は細長く、漏斗状。

花冠は6片。花柱は長く、上部は3裂、濃紅色。開花中に長針形の葉を球茎から叢生。



使用部位: **花の柱頭** 生薬名 **サフラン** クロコス **Crocus** サフラン **Safran**

サフランは サフラン *Crocus sativus* Linné (*Iridaceae*) の柱頭である。

生薬の性状 **特異臭。苦い。唾液を黄色に染める。**



細いひも状で、暗黄赤色〜赤褐色。3分枝。分枝する一端は広がり他方はしだいに細まる。強い特異臭。味は苦く、唾液を黄色に染める。

主要成分 **クロシン** **crocin**

ステノイド色素: クロシン、クロセチン-(β-D-ゲンチオピオース)-(β-D-グルコシル)-エステルなど。
苦味配糖体: ピクロクロシン。
精油: サフラナール。

確認試験 **硫酸添加**

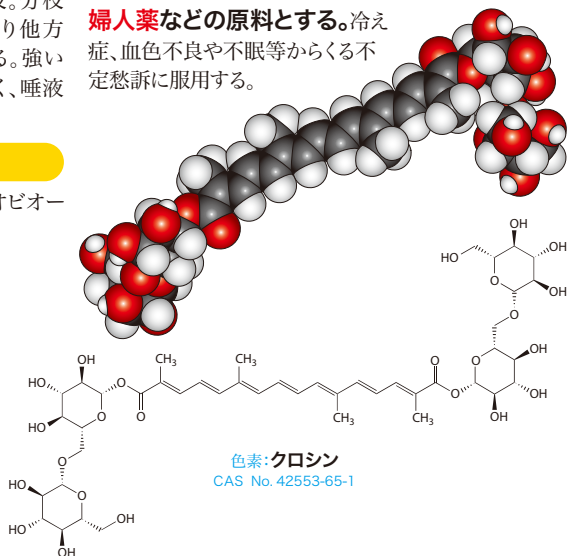
硫酸1滴→暗青色〜紫色→徐々に赤褐色(クロシンおよびクロセチン)。

主な薬効 **鎮静、鎮痛、通経**

通経作用、催眠作用、アルコール付加モデルラットの記憶学習および長期増強を改善が認められている。

主な用途 **婦人薬の原料**

婦人薬などの原料とする。冷血症、血色不良や不眠等からくる不定愁訴に服用する。



学名解説 古典ラテン語の *sativus* サティウスという発音を見ると、*va* なのに、「ウァ?」と疑問に思うかもしれない。古典ラテン語で *v* は[w]と発音されたが、俗ラテン語の時代になると [v] の音に変化してしまった。俗ラテン語同様に英語式発音でも *v* は [v] の音なので、*sativus* サティウス、*sativa* サティウス、*sativum* サティウムになる。また、ラテン語は男性形か女性形か中性形かによって語尾が代わり、属名が女性形の場合は、種小名は *sativa* サティウスになり、中性形の属名の後は *sativum* サティウムになる(例: ニンニク *Allium sativum*)。

サフラン属 *Crocus* は、ギリシャ語で *κρόκος* **クロコス**「サフラン、クロッカス、卵の黄身」から。このクロコスの語源に関しては諸説ある。ギリシャ語で *κρόκη* **クロケー**「糸」に由来するとする説では、赤い雌ずい(雌蕊・しずい、つまり「めしべ」)が糸状に長く伸びることに基づくとされている。サフランの一つの花には3本の雌ずいが存在するように見えるが、よく見ると、1本の雌ずいが途中から3本に分岐している。この雌ずいを薬用やスパイス、染料用に用いている。このギリシャ語クロコスから、英語 *crocus* [króʊkəs] **クロウカス**「クロッカス」も派生している。クロッカスとは、アヤメ科の *Crocus* (サフラン属) の球根植物を総称した呼び方なので、サフランもクロッカスに含まれる(サフラン属という和名が混乱を招いているが)。紛らわしいが、早春に咲く観賞用のいわゆる「クロッカス」は、「春サフラン、花サフラン」とも呼ばれ、対してサフランは「秋咲きのクロッカス」ということもある。

別の説では、古いセム語(ヘブライ語 **קַרְכֹּמִים** **カルコム**「サフラン」、ないしはアラビア語 **كركم** **kurkum** **クルクム**「サフラン」)に由来するとされている。

アヤメ科 Iridaceae は、ギリシャ語 *ἴρις* **イリス**「虹」より。アヤメの花が美しく、変化に富んだ色のため。英語 *iris* [áiris]「アイリス、アヤメ」もこのギリシャ語から派生。後に解剖学では、iris は様々な色が見られる眼球の「虹彩」にも使われる。また、塩酸に溶かす際に多様な色を示す金属元素も、*iridium* [aɪrɪdiəm]「イリジウム」と命名された。

サフランは、アラビア語 **زعفران** *zafaran* **ザファラン**「サフラン」から。この語も、**ベニバナ** *safflower* と同様に「黄色い」という意味の語根に由来している。

サフランの別名「番紅花(ばんこうか)、蕃紅花」は蕃(外来の)の紅花(べにばな)の意。



クロッカス
サフランと異なり、雌ずいが長くない。



紅鉛鉱(Crocoite)
別名クロコイト、クロム酸鉛 Pb(CrO₄) かなり、名前のようにクロッカス色(鮮やかなオレンジ色)である。クロムが新しい元素として発見されたのは、この鉱物から。



パエリア
スペイン料理のパエリアには、色づけ、香りづけとしてサフランが欠かせない。

栽培種 *sativus* と土曜日とサターンロケット

サフランの種小名 *sativus* サティウスは、ラテン語動詞 *sero* **セロー**「種をまく」の形容詞形「栽培された」を意味し、様々な栽培植物の種小名に使用される例: *Az Cannabis sativa* → p.50「マシニン」参照)。

古代ローマでは、**Saturnus** **サートウルヌス**「サトウルヌス神」が信仰されたが(おそらくエトルリア起源)、民間語源によって、ラテン語 *sativus* と関連づけられ、農耕神として崇拝された。サトウルヌスは、主神ジュピターの父とみなされ、ジュピターが木星の名称となったのに対し、年老いたサトウルヌスは土星の名称 **Saturn** [sáetərn] **サターン** になる(当時知られた惑星中で最も移動速度が遅い)。ちなみに、**悪魔サタン** *Satan* [séitan] **セイタン** はヘブライ語に由来し、*Saturn* サターンとは語源も英語の発音も異なる。

余談だが、NASAのロケットの「サターン」も、(株)セガ製の家庭用ゲーム機セガ・サターンも「土星(第6惑星)」が語源。また、曜日の語源はどれも神の名称が語源だが、土曜日は、サトウルヌス神があてはめられて **Saturday** [sáetədeɪ] **サタデイ** となる。錬金術において、土星は「鉛」に相当するものとみなされ、そこから、**saturnism** **サタニズム**「鉛中毒」という語が生まれた(他にも英語で **lead poisoning**, **plumbism** という)。



土星(Saturn)



サターンV号ロケットによって打ち上げられたアポロ11号

158	252	182	140	288	110	270	78	30	118	118	94	148	20	222	90	38	234	236	182	88	204	210	208	96	216	258	250	280	138	272	200	84	60	72	183	212	152	240	230	88	58	180	128	132	64	178	88	158	278	2	118	24	228	144	160	46	32	82	238	124	88	258	288	100	218	180	152	148	174	80	198	138
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----	-----	----	-----	----	-----	----	----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	-----	---	-----	----	-----	-----	-----	----	----	----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----

118	200	104	164	258	282	82	170	278	58	244	40	164	48	168	280	284	8	180	118	248	254	274	78	126	34	44	52	20	214	72	82	114	288	184	178	158	122	172	280	182	124	18	22	38	112	28	224	4	42	102	238	142	224	178	242	282	100	272	50	8	228	14	278	84	284	130	112	120	188	270	232
-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	----	----	----	-----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	-----	----	-----	---	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	---	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----